Volume 168（2021年6月）

JRRN Newsletter

日本河川・流域再生ネットワーク http://www.a-rr.net/jp/ https://www.facebook.com/JapanRRN

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。(Since 2006)

目 次 Pages

- JRRN 事務局からのお知らせ…… 1
- JRRN 会員寄稿記事…… 2
- 「多自然川づくりサポートセンター」からのお知らせ……4
- 会議・イベント案内 & 冊子等の紹介……5

JRRN 事務局からのお知らせ（1） *JRRN Activity Report*

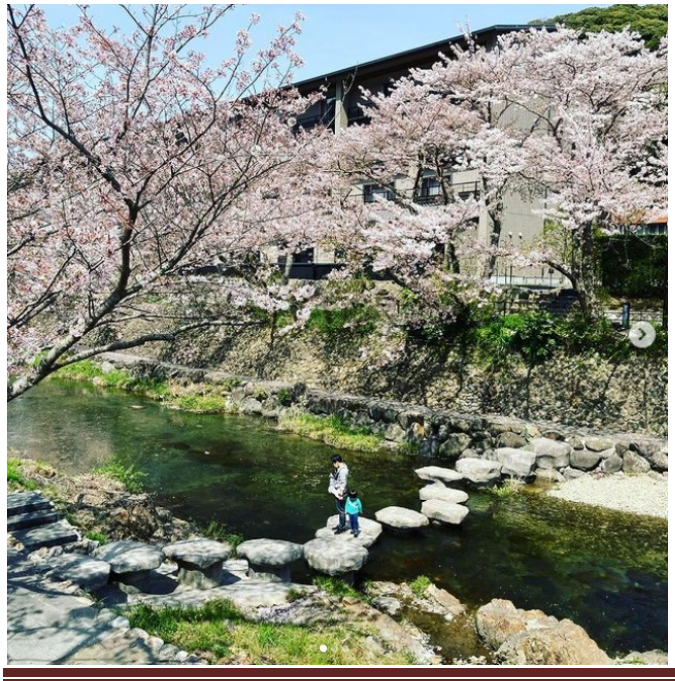
「桜のある水辺風景 2021」の結果のお知らせ

今年からフィールドを Instagram に移した桜のある水辺風景 2021 ですが、計 7 点の応募がありました。素敵な写真を応募していただいたみなさま、「いいね!」を押していただいたみなさま、本当にありがとうございました。

応募作品のうち、事務局メンバー7 名の投票により、最優秀賞と優秀賞を 1 点ずつ選定しましたので、ここで作品とコメントをご紹介します。

【最優秀賞：yuripeenico さん（3 枚組）】

春休みの思い出。
タイミングよく桜が満開でした。ほんとに綺麗で、幸せな気持ちになりました。
森山直太朗のサクラを口ずさみながら歩く息子、ナイス！



【優秀賞：sayumiiw さん】

『新井田川の桜づつみ』
いつものランニングコースも桜に彩られ、きっといつもより軽快さを感じているはず。
隣接する新井田公園と合わせて八戸市の桜の名所です。
（青森県八戸市　新井田川）

JRRN では、今後も Instagram での情報発信を続けていきます。是非、「チェック」「フォロー」「いいね！」をよろしくお願いいたします。（JRRN 事務局・阿部充）

あの日のあの川　リレー日記　～第 56 話～

あの日のあの川
リレーDiary

みなさんはどこの川でどんなことをした記憶がありますか？幼少期や青春時代に体験した川での記憶を日記として掘り起こして語るコーナーです．リレー形式で毎回次の人にバトンをつなぎます．

第 56 話主人公　鎌田一輝

（筑波大学大学院　システム情報工学研究群　構造エネルギー工学学位プログラム　白川(直)研究室『川と人』ゼミ）

（□川ガール・■川系男子）

（出身地を流れる川：埼玉県芝川）

「ちっぽけな自分」

いつのこと？：　小学校 3 年

どこの川？：　四万十川

皆さんこんにちは。榎本さんよりバトンを受け取りました筑波大学白川研究室の鎌田です。川についての思い出をということですが、自分はインドア派といいますか、幼少期に、森や川といった自然の中で遊んだ経験があまりなく、川についての記憶といったら小さい頃、学校に行く途中で川の横を通り、雨の日の後なんかはいつもよりたくさん水が流れているなぁと思う程度でした。そんな自分ですが、なんとか記憶を掘り起こしてみたいと思います。

小学三年生の時、四国に家族で旅行に行き、四万十川を訪れました。当時、川といったら近所の小さい川くらいしか知らなかったので、初めて四万十川を見たときは衝撃でした。人工物に抑え込まれた川ではなく、自然として存在する川に対して小学生ながら畏怖の念を抱いたのです。屋形船に乗る機会があったのですが、実際に川の上を進んでみると川の流れがゆるやかなことに驚きました。また、清流といわれてはいましたが、意外と川底が見えるようなことはなかったことを覚えています。行った場所が良くなかったのでしょうか。肝心な川についての記憶はこれくらいで、当時宿で食べたカツオのたたきなどの味は詳しく覚えているのがなんとも言えないところです。

それからしばらく時がたち、高校生になり山岳部に入部しました。なんやかんや自然が好きだったというのもあると思います。山登りしている途中で沢に出会い、水のせせらぎを聞いてリラックスしたり、「これが本物の湧き水じゃー」と直飲みしたりしました。とっても冷たかったり、案外冷たくなかったり、岩の周りに生えているコケに気を付けながら歩いたり。山登りの最中に川に出会うと、テンションがあがり、とても楽しかったことを覚えています。山岳部に入ってからはこんな感じで、必然的に自然の中に身を置く機会が増えましたので自然と自分の対比をすることが多くなりました。自分という存在が山や川に触れることでなんとなく感化されるという普段、町にいると感じにくい経験をしたのですが、最初にしたのは四万十川だったと思います。

それから現在は、治水対策の評価というような研究をしておりますが、人間が川とどう付き合ってきたのかということを調べるのはとても面白いです。これからの時代、川という自然を人工物で抑え込んでいけるのでしょうか。大自然の中で感じた自分という人間のちっぽけさと、川の周りに建てられた堤防を比べると、人間の技術の進歩なのかなんなのか科学の功罪といいますか、えもいわれぬような気持ちに襲われます。これからは、素敵な自然と人間生活とがうまく調和できるような社会にしていきたいです。自分にできることってあるのでしょうか。よく考えておきます。急ですが、以上になります。

どうもありがとうございました。

（次は早川由里子さんにバトンを託します）

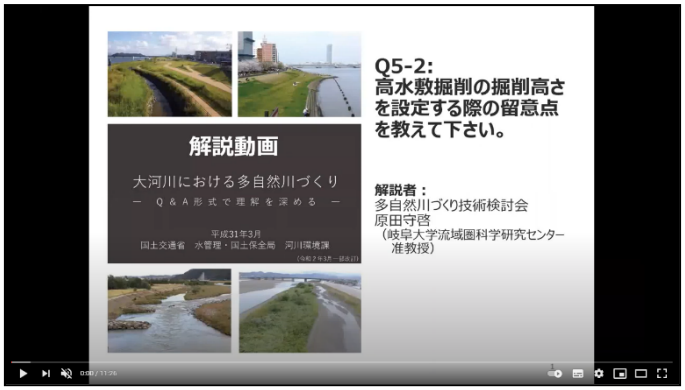
「多自然川づくりサポートセンター」からのお知らせ　*Nature-oriented River Management Support Center*

※『多自然川づくりサポートセンター』は、多自然川づくりについての技術的な支援、市民との連携の強化、気軽な相談窓口、情報の共有等を担い、（公財）リバーフロント研究所が事務局を務めています。2019 年度より、JRRN は多自然川づくりサポートセンターと連携して川づくりの推進に取り組んでおります。

「大河川における多自然川づくり～Q&A 形式で理解を深める～」ウェブセミナーを開催します！　第 1 回は 6/17（木）16:00～

多自然川づくりサポートセンター事務局

■大河川 Q&A ウェブセミナー



本セミナーは、「大河川における多自然川づくり～Q&A 形式で理解を深める～」を基に、複数回に渡り、河道掘削や樹木管理における多自然川づくりのポイントを Q&A 執筆者より解説した上で、セミナー参加者の皆様と意見交換を通じて、大河川における多自然川づくりへの理解を深めることを目的としています。

■大河川における多自然川づくり－Q&A 形式で理解を深める

本書では、大河川における多自然川づくりを実践するため、現場で直面する課題を Question とし、これに Answer として答える形式で、これまで日本が蓄積してきた知見が分かり易く紹介されています。

※本 Q&A のダウンロードはこちらから
http://jp.a-rr.net/jp/resources/guideline/276.html

<ウェブセミナーの概要>

●開催形式：ZOOM ウェビナー
→会場に集まる必要が無く、手軽に参加可能であるウェブセミナー形式にて実施します。

●開催時間：16：00～18：00（1 時間程度）
→時間帯は、気軽に参加できるよう一般的な企業の終業時刻程度に開催します。
所要時間は、参加者が集中できるよう 1 つの Q＆A に対して 1 時間（動画 10 分＋解説 10 分+質疑 30 分+進行 10 分）程度を予定しています。

●参加者数：100～500 名程度

●CPD：土木学会継続教育プログラム認定

＜ウェブセミナー　スケジュール（案）＞

令和 2 年度以降の 2 年間で、土木建設業における繁忙期（1～3 月）を除く期間において、隔月実施する予定です。

●次回開催案内
次回のウェブセミナーは、以下の日時で開催予定です。
〇令和 2 年 6 月 17 日(木)　16：00～17：30
※参加申し込みはこちらから
https://forms.gle/vGwy7PCCxNURa3Xo6

会議・イベント案内（2021 年 6 月以降） *Event Information*

（国内の河川・流域再生に関する主なイベント）

■近畿地方流域治水シンポジウム
○日時：2021 年 6 月 9 日（水）13:00～15:40
○主催：一般社団法人近畿建設協会　他
○場所： オンラインでライブ配信（YouTube）
http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3203.html

■2021 年度河川技術に関するシンポジウム
○日時：2021 年 6 月 10 日（木）～11 日（金）
○主催：公益社団法人土木学会 水工学委員会
○場所： オンライン
http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3195.html

■大河川における多自然川づくりセミナー 第 1 回『どうすれば良い？大河川における多自然川づくり』
○日時：2021 年 6 月 17 日（木）16:00～17:30
○主催：多自然川づくりサポートセンター
○場所： zoom ウェビナー
http://jp.a-rr.net/jp/news/member/3826.html

■第 13 回 “いい川” “いい川づくり”ワークショップ
○日時：2021 年 10 月 2 日（土）～3 日（日）
○主催：いい川・いい川づくり実行委員会
○場所： 長良川国際会議場（岐阜県岐阜市）
http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3166.html

（海外の河川・流域再生に関する主なイベント）

- 2021.6.21-24 (online)　9th World Conference on Ecological Restoration
- 2021.6.21-24 (online)　Fish Passage 2021
- 2021.6.21-25 (online)　I.S.Rivers 4th INTERNATIONAL CONFERENCE
- 2021.9.27-30 (Brisbane, online)　24th International Riversymposium
- 2021.10.21-22 (UK, online)　22nd RRC Annual Network Conference
- 2022.3.21-26 (Senegal)　9th World Water Forum

冊子等の紹介 *Publications*

■ できることからはじめよう 水辺の小さな自然再生事例集 第 2 集

市民が河川や水路の管理者と連携して日曜大工的に取り組む「小さな自然再生」の事例集の続編（第 2 集）の印刷製本版を普及中です。

本事例集は、水辺の小さな自然再生に取り組む全国の担い手の皆さまに、活動の経緯や目的、実施体制、工法の説明や工夫した点、使用材料や工具、施工後の維持管理や利活用の工夫、活動の効果やキーパーソンなどを執筆頂いたものです。

●編集： 「小さな自然再生」研究会
●企画・構成： 吉冨友恭 東京学芸大学環境教育センター
●デザイン： 本間由佳 明星大学 デザイン学部 デザイン学科
●発行： 日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）
●発行年月： 2020 年 3 月

■ 送付申込受付中 → **http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1149.html**
本事例集の印刷製本版の送付をご希望の方は、**送料（250 円）のみご負担頂いた上で**、2 冊を上限に無料でご提供致します。詳細は上記 URL をご覧ください。

■上記冊子の入手方法　※PDF 版はこちらから： http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/

JRRN 会員募集中　*JRRN membership*

■ JRRN の登録資格（団体･個人）

JRRN への登録は、団体･個人を問わず**無料**です。市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川再生に携わる皆様のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

会員登録をされた方々へ様々な「会員特典」をご用意しています。

(1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週 1 回メール配信されます。

(2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。

(3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。

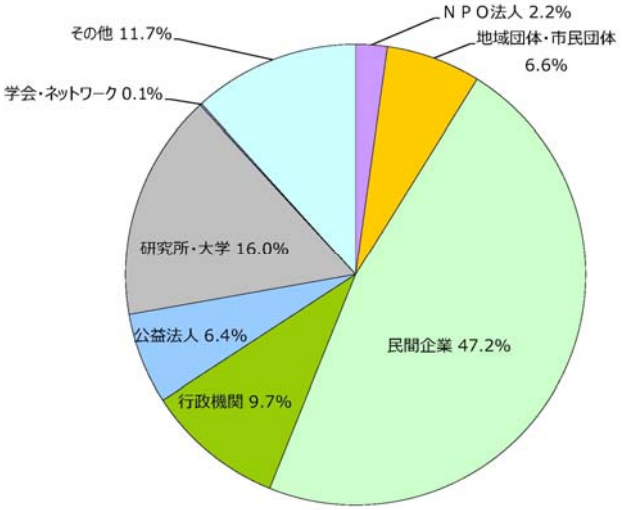
(4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。

(5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧下さい。

http://www.a-rr.net/jp/member/registration.html



2021 年 5 月 31 日時点の個人会員の所属構成
（個人会員数：820 名、団体会員数：61 団体）
※5 月の新規入会数：　個人会員 2, 団体会員 0

JRRN 会員特典一覧表（団体会員・個人会員）

提供サービス	JRRN 個人会員	JRRN 団体会員	非会員（一般）
1 ホームページへのアクセス及び記事へのコメント入力 ※1	◎	◎	◎
2 ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ※2	◎	◎	◎
3 ニュースメール（週1回）の配信 ※3	◎	◎	×
4 Newsletter（毎月）及び年次報告書（年1回）等の発刊案内メールの配信 ※3	◎	◎	×
5 JRRN/ARRN主催行事の優先案内･優先参加 ※4	◎	◎	×
6 国内外の河川再生関連情報･技術収集や専門家･組織紹介の支援 ※5	◎	◎	×
7 ホームページ「会員からのお知らせ」内及びニュースメール「会員からのご案内」欄で団体が関わる行事･出版物･製品等の案内の掲載 ※6	△※7	◎	×
8 ホームページ「会員登録状況」「国内団体」内及び年次報告書内で団体名の掲載	×	◎	×
9 ARRN活動に関連する英語ニュール（ARRN Newsletter等）の不定期配信 ※8	×	◎	×
10 JRRN及びARRNが保有する国内外専門家･団体等との連携等の支援 ※9	×	◎	×

会員特典詳細はウェブサイト参照：　http://www.a-rr.net/jp/member/benefit.html

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川･流域再生ネットワーク(JRRN)　事務局
〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号 NMF 茅場町ビル 7 階　（公財）リバーフロント研究所 内
Tel:03-6228-3865　Fax:03-3523-0640　E-mail: info@a-rr.net
URL: http://www.a-rr.net/jp/　Facebook: https://www.facebook.com/JapanRRN